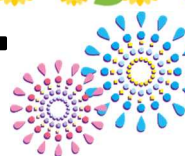




Forest

通信



H29 8

林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター

NO. 342



巻頭 photo

高尾山の生きものたち

コオニヤンマ (サナエトンボ科)

ちょっと見ると先月号のオニヤンマ(約100mm)と思えますが、これはコオニヤンマ(85mm)でキチョウを食べているところをパチリ！一見残酷に見えますが、これは自然界の厳しい「食う食われる」関係の一場面です。

このトンボは、時にはミヤマカラスアゲハなどの大型チョウを襲うことがあり、近年チョウ類が減少していると思われ、果たして餌に巡り会えているかどうか心配です。



今月の一句
「蝶の翅 哀れさ誘う 炎天下」

(フォレストサポートスタッフ 大作栄一郎)



二美ちゃん 富ちゃん 皿ちゃんの

～ホオノキ～ (モクレン科)



高尾山で一番大きな木の葉何かと聞かれたら何と答えますか。大きな葉は沢山あるようで私だったらホオノキの葉と答えます。センノキだって大きいじゃないかという人もいるかもしれませんが、ホオノキだと思います。

このホオノキの葉で飛行機を作って飛ばしたり、お面を作って遊んだり、葉でミソを包んでホオバミソにしたり、いろんな物を包んだりとか昔から人々の生活と密接に関わりあってきています。

あまり知られていないのが、この葉を利用して納豆が出来るということです。自然界の中にはいろんな植物に納豆菌が着いているようなのです。ホオノキもその一つです。試しに作ってみました。

最初に作ったのはトチノキの葉でした。癖もなく、臭い、糸の引き方、味は紛れもなく納豆でした。ホオノキの葉は少し癖のある臭いがして糸の引き方も少

し弱いようでしたが、後味のすっきりした納豆が出来ました。

作り方は至って簡単で、葉にやわらかく煮た大豆(市販の缶詰を使用)を包んで温度を40度で32時間くらい保温するとできます。今は手頃の容器が市販されていますので誰でも作れます。一度試してみても如何ですか。(富)



森林カレッジⅡ

～森に学ぶ & 草刈り～

7月8日(土)に森林カレッジⅡが日影沢キャンプ場において開催されました。当日は素晴らしい晴天ですが、気温の上昇とともに熱中症が心配されるコンディションとなりました。

午前中のプログラムは東京農業大学教授の宮林茂幸先生による講義「森に学ぶ～森づくり、ことづくり、人づくり」です。21世紀を迎えて生活環境の変化に伴う不安の増大・未来へ向けた産業構造の転換の必要性・環境共生社会の実現等の内容ですが、実際の講義では宮林先生の人柄もあり、笑いも交えての終始なごやかな雰囲気での講義となりました。そして参加者からの感想では「森に人の手入れが必要なのが理解できた」「今後ともぜひ森林に関わって行きたい」「今後の日本林業について真剣に考えさせられた」「未来へ森林を残すための手助けをしたい」など、講義についての深い理解と共感を寄せたものが多かったのも特徴でした。

午後からは6班に分かれての草刈り作業です。まずは道具の整備として「鎌研ぎ」から開始です。参加者は男女20代から60代までの精鋭達！？ですが、当然のことながら「下刈り鎌」なるものに触れることは勿論、見るのも初めてという方ばかりです。しかも前述のとおり猛暑の中での作業となりましたが、全員が集中して作業を行い一人の脱落者もなく無事終了することができました。

年4回開催のプログラムも前半戦を無事に終了することができました。今後も参加者の更なる活躍に期待したいと思います。(磯)



みんな真剣に鎌研ぎ！



併せて植物観察！



炎天下で下草刈り体験！



宮林先生の講義

森林教室

～八王子市立みなみ野小学校～

「ぼくの木・わたしの木！」

八王子市立みなみ野小学校では、三年生が校庭の樹木から「ぼくの木・わたしの木」を選んで一年間観察する授業を実施しております。

センターでは、子供達の観察に役立てるため、学校に出向いて樹木の説明をする森林教室を実施しています。

森林教室は2回に分けて行っています。1回目は、6月5日に樹木を選ぶ参考にするため、パワーポイントによる座学で校庭にある樹木の説明をしました。座学では、「アワブキ」への質問が相次ぎ「アワブキのアワは利用できるのですか」などの質問が出るなど興味深く聴いていました。

2回目は6月19日に、センター職員が樹木の前でその樹木を選んだ子供達を中心に、名前の由来や特徴、材質や用途などを説明しました。子供達は「生長すると何メートルぐらいになるのですか?」「木の実は何色になるの?」などの質問をしながらメモを取り真剣に聴いていました。

これから一年間、「ぼくの木・わたしの木」の観察を通じて、森林に興味を持ってもらいたいものです。
(皿)



森林教室

～小平市立第二小学校～

笑顔いっぱい！楽しかった丸太切り！

6月23日(金)、小平市立第二小学校若草学級の1～6年生がやってきました。まずは森林学習のアニメーションからスタートです。地球温暖化をテーマとしているため1～2年生にはちょっと難しかったかもしれませんが、最後まで集中して見ることができました。

次は楽しみにしていた丸太切りです。はじめは1～2年生が手こずっている様子も見えましたが、半分くらい切り進むとコツを掴んで上手に切れるようになりました。3～6年生たちはさすがにお姉さんお兄さんたちなのでみんな上手に・・・とはいかない?場面も多少ありましたが、全員が終了するころには個性たっぷりの丸太の輪切りがたくさん出来上がりました。

昼食の後は、いよいよ最後のプログラム、森林散策です。今回は1～2年生、3～4年生、5～6年生の3グループに分かれてのスタートです。林道を上っていくと木漏れ日の中「すずしくてきもちい～♪」「虫がとんできた!」「大きな木!」などの歓声と同時に満面の笑顔もたくさん見る事ができました。

無事に下山した後は「まだ色々なことをやりた～い!」気持ちと「もう疲れちゃった・・・」が半々の状態の様子でしたが、われわれ職員にとってはバスの車窓から手を振る子どもたちの笑顔に癒やされた素敵な一日となりました。(磯)



森林教室

～横浜市立山下みどり台小学校～

雨の日ならではの遭遇！

6月30日（金）、横浜市立山下みどり台小学校5年生68人が、宿泊体験学習の2日目に当センターの森林教室（森林ふれあい館）に小雨降る中やってきました。前日に様々な体験学習を行い、学校側から「児童達は疲れ気味なので・・・」と当日の朝連絡を受け、森林散策学習の時間を短縮するハプニングもありましたが、実際に森林教室が始まったらみんな元気いっぱいでした。

午前中の森林教室は、森林学習&丸太切り体験に2つの班に分かれて行いましたが、今回小雨のため、いつもは森林ふれあい館の屋外で行っていた丸太切り体験を屋内で初めて試みました。毎回ボランティア活動としてお手伝い頂いているフォレストサポートスタッフの皆さんの手際の良い段取りで、丸太切り体験をスムーズに実施できました。また、森林学習ではアニメを使った地球温暖化等の話や森林の働き等を児童達は目を丸くしながら真剣に学習し、「人工林は、なぜスギやヒノキなの？」「森林で切り倒し利用されない木材はどうなるの？」などたくさん質問をしてくれました。

昼食を食べ終わる頃には雨も上がり、午後の森林散策は6班に分かれ時間を短縮し、大平林道を往復してくる自然観察にコースを変更しました。林道沿いの木々や植物を観察したり、草笛を吹いたり元気いっぱい散策を楽しんでいました。雨上がりのため、林道沿いに現れた沢ガニに触れて喜んだり、またミミズを丸呑みするクガヒルを見て驚いていました。

最後に、閉校式では「丸太切りは大変だったけど、楽しかった！」「森林の働きをたくさん勉強できました！」など感想をいただき、バスに乗り込み見送る我々職員&フォレストサポートスタッフの皆さんに手をいつまでも振り、帰校して行きました。

多忙だった6月期の森林教室が無事に終わり、職員一同安堵。お疲れ様でした。（屋）



みんな真剣に…



クガヒル



屋内での丸太切り

編集後記

今年も夏がやってきた。毎年のことだが、高校野球・終戦記念日と、日本人にとって特別な季節かもしれない。高尾山周辺は混雑しているものの、春と秋のピーク時よりは人出は少なめ。センターも森林教室が一段落し、つかの間の落ち着きを取り戻している。今のところ天候に恵まれて、ほとんどのイベントが無事に開催出来ている。だが喜んでばかりもいられない。関東地方は水不足。ところが九州は豪雨被害の爪痕が癒えないままの辛い状況。全ての人に幸せな状況は、なかなかやってきてくれないものだ。（磯）

Forest 通信 No.342

発行：林野庁関東森林管理局高尾森林ふれあい推進センター

【ご意見、ご要望及びイベント情報のお問合せ先】

林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター

〒193-0844 東京都八王子市高尾町 2438-1

電話 050-3160-6040 FAX042-663-7229

<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/index.html>